鴨川市地域公共交通会議 令和7年度第1回会議

会議録

日時：令和7年5月23日(金)午後1時30分から

場所：鴨川市役所 4階 大会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏名	備考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪 新一	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	花香 拓人	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	飯塚 貴之	
	鴨川市校長会 会長	石井 聖一郎	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	篠田 千津子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏名	備考
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	伊藤 昌央	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長 (鴨川担当)	渡邊 剛太郎	
	利用者代表	平野 元美	

2 オブザーバー

所属・職	氏名	備考
千葉県総合企画部交通計画課	鎌田 凌生	

3 事務局

所属・職	氏名	備考
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係長	高梨 泰里	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

[配布資料]

- ・ 席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・ 資料1 鴨川市コミュニティバス 令和6年度運行実績について
- ・ 資料2 チョイソコかもがわ 令和6年度運行実績について
- ・ 資料3 令和8年度「地域間幹線系統確保維持計画」(案)について
- ・ 資料4 令和8年度「地域内フィーダー系統確保維持事業」の認定申請(案)について
- ・ 参考資料1～3 公共交通乗り方教室 実施結果

■議事要旨

1 開会 (午後1時30分) 司会 企画総務部企画政策課 田中課長補佐

- ・ 配布資料の確認
- ・ 事務局紹介、新委員の委嘱状交付
- ・ 会議の成立、公開の報告

2 会長あいさつ

(要旨)

本日はご出席をいただき感謝を申し上げます。

本会議では、重要な地域公共交通施策に関する事項について協議を行っており、令和7年度の第1回会議ということで、委員の皆様には引き続き、ご協力をお願いする。

また、新たに委員に就任された皆様は、本日からよろしく願い申し上げます。

本日の会議では、令和6年度コミュニティバス・チョイソコかもがわの実績報告が1件、令和8年度事業に係る協議が2件など計3件をお願いしたい。皆様には、忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、花香 拓人 委員を指名

協議案件1 「鴨川市コミュニティバス及びチョイソコかもがわ」令和6年度運行実績について

(事務局から、資料1に即して説明)

羽田副会長：コミュニティバスは委託。チョイソコかもがわは補助金となっている。チョイソコかもがわは、自らの基金の中でスタートした経緯があり、委託にはなじまない部分もあるかと思うが、市も関わりながらという状況でも、持ち出しが出ており、事業の継続に対しての不安が残る。全体の中で委託と補助金を切り替えて、市の方も事業主体という形を取っていけないのか。そのような状況が続き、もしも事業の撤退という話になると非常に厳しいと感じている。

事務局：委託と補助の考え方について説明する。鴨川市コミュニティバスのような委託については、市が地域公共交通会議の協議を経て、運行計画を作成。運行計画を実施する事業者を公募し、それを受けた日東交通へ運行業務を委託。委託料を支出をしている。

一方でチョイソコかもがわは、元々、千葉トヨタ自動車と鴨川タクシーで運行していた民間主体の事業。ただ公共交通としての側面があると同時に、既存の公共交通（タクシー、バス事業）と競合する部分がある特殊な運行形態だったので、地域公共交通会議で検討した経緯がある。その結果、必要な交通手段ということで市も補助金を支出している。

民間主体の事業であることで、スポンサー収入も得られている。令和6年度は持ち出し部分があるが、実際に千葉トヨタ、鴨川タクシーと運行事業について協議をしながら進めている。少しでも赤字を圧縮できるように相談している。それぞれの運行手段の特徴を生かしながら維持をしていきたい。

協議案件1 令和8年度地域間幹線系統確保維持計画（案）について （事務局から、資料2に即して説明）

福浪委員：1点質問する。地域間幹線系統の4号の系統について、計画輸送量が14.7人で15人の条件に満たなく、補助対象から外れてしまう見込みとの説明があったが、今回の令和8年度からこの見込みになるということか。

事務局：鴨川市内線は、令和5年10月に再編し、短い系統も含め2系統で運行している。計画として数字を割ってしまったのは、この令和8年度計画からとなる。昨年度の認定申請の数字はクリアしている。

福浪委員：もう一点質問する、補助対象外になっても0円で申請するのか。

事務局：県と協議して、まずは0円で提出し、国の反応待ちとなる。県内でも同じ状況の系統があると聞いている。

福浪委員：以前、運輸局で地域間幹線系統の補助の担当をしていた経験があるが、0円の系統は記載していなかったと記憶している。もし運輸局から指導があれば指示に従っていただきたい。

（注釈：5月29日付国土交通省から通知があり、コロナ特例により輸送量要件が緩和され、R8年度事業において、過年度認定を受けている系統であって輸送量5人～15人未満の系統については引き続き補助対象として認めるものとなり、鴨川市内線4号系統についても認められるようになった。）

羽田副会長：短い路線がゆえに条件の15人を切ってしまった。長くすれば良くなるか。そういった考え方は成立するのか。

事務局：仮に運行距離を伸ばして乗客が増えれば15人以上をクリアした可能性があるが、距離を延ばしたり回数を増やした場合、その分の費用は掛かることとなる。単純に損得で見てどちらがいいかは一概には言えない。

資料のとおり承認

協議案件2 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請（案）について

（事務局から、資料3に即して説明。）

資料のとおり承認（文言、様式の軽微な変更は、会長と事務局一任。）

4 その他

三橋委員：チョイソコかもがわの運行の件で、天津小湊地域は通学等で朝方6時半から8時、夕方16時から18時30分とある。長狭地域でも通常運行の時間に加え、16時から18時30分というのは便宜を図っていただくことはできないか。

事務局：朝夕の運行は、今現在、通学でのみ使わせていただいている時間帯。ドライバーの問題や、補助金の問題等もあるが、こういった意見も出てきたことは、一度受け止めさせていただく。

事務局：1点報告する。令和7年の1月に、鴨川小学校6年生と、西条小学校4・5年生を対象に、電車版の公共交通乗り方教室を、2月に鴨川小学校4年生を対象にバス、タクシーの乗り方教室をそれぞれ開催した。どちらも、公共交通の現状などを説明させていただき、大変有意義な内容となった。参考資料1～3にアンケート結果などを載せているのでご覧いただきたい。また今年度も開催を考えているので、関係者の皆様にはご協力をお願いします。

5 閉会（午後2時43分）

以上

令和7年6月12日

会議録署名人 花香 拓人